

平成26年
3月定例会
2月28日～3月20日

26年度当初予算成立!

ソフトバンクホークス

一般会計は昨年度比11.4%増

関連議案を議決 ファーム工事本格実施へ! 副市長は1人体制へ

主な議案と質疑

3月定例会では、26年度の10の主要施策を含めた積極型予算が審議されました。(予算特別委員会の審議の結果はP4～P5に掲載)
最終日には、筑後船小屋駅西側に誘致決定した、福岡ソフトバンクホークスのファーム関連議案が可決され、2年後の開業へ向け、本格的に準備が進んでいきます。
また、副市長の定数を2から1とする議案が可決され、4月から田村貴子氏(47)を副市長とする人事案件に同意しました。

問 副市長は、3年前にそれまでの1人から2人となった。今回1人に戻す理由は。
答 市長1期目のマニユフェストが「女性副市長の誕生」だった。3年前に、副市長2人制を提案した時には、その代わりに部長制を廃止することを視野に入れていた。この間の検討の中で、多様化する市民ニーズに対し、課長権限だけでは応えることが困難と判断し、部長制を存続することにした。このことによ

り副市長を1人に戻す決定をした。
退任された松本前副市長



問 収益事業が増えることになると思うが、指定管理料についてはどう考えているのか。
答 指定管理料の変更は考えていない。今回、レストラン機能を持つ休憩室の増築を行っている。指定管理者にとっては収益も上がるが、維持管理の範囲も広がることにな

るため、相殺する形で現状のままとした。
問 次期の契約の際は、考えるということか。
答 26年度中に検討したい。
問 今回、当初の指定管理の内容が変わるのだから、当然契約変更するべきではないかと思うが。
答 オープン後、1年間様子を見て、次の指定管理者を決定する際に、十分検討したい。
問 筑後市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について
答 (全員賛成 原案可決) 消防団への女性参画を拡大し、協働による総合的な消防防災体制の一層の充実強化を図るため、女性消防団員定数を増員するもの。
問 女性の参画について、ねらいや具体的な目的などがあるのか。



答 これまでの消防団は男性中心の組織だったが、防災を考える上で、住民の積極的な参加促進や地域防災力を充実強化するためには、女性ならではの能力も必要である。
問 消防団員は、男性であつても地域の中で新しい団員を確保するのが大変である。そんな中で女性消防団員の増員だが、確保の見込みはあるのか。
答 これから募集していく。広報や地域での声かけなど幅広く行っていきたい。
増員される女性消防団員 (出初式の様子)

筑後市一般会計補正予算 (全員賛成 原案可決)
25年度の予算総額を187億1880万円とするもの。
公的介護施設整備事業費補助金1億150万円。第5期介護保険事業計画に基づき、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業所(小規模特養)の整備に対して1床あたり350万円を補助するもの。
問 この整備によって、特別養護老人ホームの待機者がどのくらい解消できるのか。
答 市の計画では29床の整備を行うが、高齢化率の伸び等により追いついていない状況。一方、県が計画する広域での整備もあり、26年度に市内に40床の計画がある。広域の整備ですでに、25年度に八女市分であるが、筑後市との境あたりに40床が整備されており、入居が始まっている。

人事案件2件(同意)
副市長
田村貴子(山ノ井)
人権擁護委員
永松三夫(徳久)
(敬称略)



財産の取得について (全員賛成 原案可決)
筑後船小屋駅西側一帯のホークスファーム用地について、地権者等と売買の協議が整ったため、条例の規定により提案された。
可決により、予定地の整備が本格的に進んでいくことになる。
筑後にホークスが、来る!

ホークスファーム本拠地立地に関する基本協定調印式
3月27日、九州芸文館において、ホークスとの基本協定調印式が行われました。
市からは、市長、議長、商工会議所会頭が出席、ホークス側からは、代表取締役社長後藤氏、取締役相談役館氏、取締役兼執行委員沖本氏が出席、協定書に調印しました。
市民の夢が走り出します。
調印式の様子(九州芸文館)

